令和6年小野町議会定例会6月会議

議事日程（第1号）

令和6年6月12日（水曜日）午前10時開議

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
- 日程第 2 議会運営委員長報告
- 日程第 3 諸般の報告
- 日程第 4 議案第31号 小野町税条例の一部を改正する条例について
〔上程、説明、質疑以下日程第5まで同じ〕
- 日程第 5 議案第32号 小野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
- 日程第 6 議案第33号 令和6年度小野町一般会計補正予算（第1号）
〔上程、説明、質疑以下日程第7まで同じ〕
- 日程第 7 議案第34号 令和6年度小野町介護保険特別会計補正予算（第1号）
- 日程第 8 議案第35号 小野町教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて
〔上程、説明、質疑、採決〕
- 日程第 9 議案の委員会付託
- 日程第10 請願・陳情の委員会付託
- 日程第11 報告第 2号 令和5年度小野町一般会計予算繰越明許費繰越の報告について
- 日程第12 報告第 3号 令和5年度小野町水道事業会計予算繰越の報告について

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員（11名）

1番	橋	本	善	雄	君	2番	國	分	順	一	君
3番	羽	生	洋	市	君	4番	會	田	百合	子	君
5番	緑	川	久	子	君	6番	先	崎	勝	馬	君
7番	竹	川	里	志	君	8番	宗	像	芳	男	君
9番	水	野	正	廣	君	11番	中	野	孝	一	君
12番	田	村	弘	文	君						

欠席議員（なし）

地方自治法第121条第1項の規定により説明のため出席した者の職氏名

町 長 村 上 昭 正 君 副 町 長 菅 野 望 君

教 育 長	有 賀 仁 一 君	総 務 課 長	村 上 昭 一 君
企画政策課長	西 牧 英 一 君	税 務 課 長	佐 藤 金 哉 君
町民生活課長	矢 吹 昌 之 君	健康福祉課長	赤 坂 泰 秀 君
子育て支援課長	先 崎 秀 一 君	産業振興課長 兼農業委員会 事務局長	鈴 木 稔 君
地域整備課長	矢 吹 浩 司 君	教 育 課 長	吉 田 隆 君
会計管理者 兼出納室長	味 原 広 一 君	代表監査委員	佐 久 間 金 治 君

職務のため出席した者の職氏名

事 務 局 長	郡 司 功 次 長	郡 司 治 子
書 記	鈴 木 健 之 書 記	新 田 晟 也

開議 午前10時00分

◎開議の宣告

- 議長（田村弘文君） ただいまから令和6年小野町議会定例会6月会議を開きます。
ただいま出席している議員は11名で定足数に達しており、会議は成立いたしました。
-

◎議事日程の報告

- 議長（田村弘文君） 本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。
-

◎会議録署名議員の指名

- 議長（田村弘文君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。
会議録署名議員に、会議規則第125条の規定により、議長において、
9番 水野正廣 議員
11番 中野孝一 議員
を指名します。
-

◎議会運営委員長報告

- 議長（田村弘文君） 日程第2、定例会6月会議の日程等について、議会運営委員長の報告を求めます。
議会運営委員長。
7番、竹川里志議会運営委員長。

〔議会運営委員会委員長 竹川里志君登壇〕

- 議会運営委員会委員長（竹川里志君） 去る6月5日開催した議会運営委員会の結果について報告いたします。
令和6年小野町議会定例会6月会議の会議日程については、6月12日から6月17日までの6日間を目途に進めることといたしました。
次に、議案の採決方法について、議案第33号及び議案第35号については起立採決とし、議案第31号から議案第32号及び議案第34号までについては簡易採決により行うことといたしました。
なお、議案第35号については、委員会付託を行わず、議案が上程された日に採決を行うことといたします。
次に、一般質問につきましては、13日、14日の午後6時から、2日間にわたり、通告の順序により13日に3名、14日に3名の計6名が行います。

次に、陳情の取扱いについて。陳情第2号については、厚生産業常任委員会に付託し審査することとし、陳情第3号から陳情第6号については、総務文教常任委員会に付託し審査することと決定いたしました。

また、議案に対する討論がある場合には、最終日前日までに議長へ通告をお願いいたします。

以上をもって報告といたします。

○議長（田村弘文君） ただいまの議会運営委員長の報告に対し、質疑はありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（田村弘文君） 質疑なしと認めます。

したがって、議会運営委員長報告のとおり、定例会6月会議の日程は本日から6月17日までの6日間を目途に進めることといたします。

次に、議案の採決方法について、議案第33号及び議案第35号については起立採決とし、議案第31号から議案第32号及び議案第34号については簡易採決により行うことといたします。

次に、一般質問につきましては、13日、14日の午後6時から、2日間にわたり、通告の順序により13日に3名、14日に3名の計6名の議員が一般質問を行います。

次に、陳情の取扱いについて。陳情第2号については、厚生産業常任委員会に付託し審査することとし、陳情第3号から陳情第6号については、総務文教常任委員会に付託し審査することと決定いたしました。

また、議案に対する討論がある場合には、最終日前日までに議長へ通告をお願いします。

定例会6月会議の日程については、お手元に配付のとおりであります。

◎諸般の報告

○議長（田村弘文君） 日程第3、諸般の報告を行います。

最初に、地方自治法第121条第1項の規定に基づき出席を求めましたのは、町長、教育委員会教育長、農業委員会会長及び代表監査委員であり、その委任を受けました者の名簿はお手元に配付のとおりであります。

次に、監査委員から例月出納検査報告書が提出されております。お手元に配付のとおりであります。

次に、本日までに受理した請願・陳情は5件であります。

これで、諸般の報告を終わります。

◎議案第31号及び議案第32号の上程

○議長（田村弘文君） 議案の上程を行います。

日程第4、議案第31号 小野町税条例の一部を改正する条例についてから日程第5、議案第32号 小野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例についてまで、2議案を一括して議題といたします。

事務局長に朗読させます。

事務局長。

郡司事務局長。

[議事事務局長朗読]

◎議案第31号及び議案第32号の説明

○議長（田村弘文君） 町長の提案理由の説明を求めます。

町長。

村上町長。

[町長 村上昭正君登壇]

○町長（村上昭正君） おはようございます。

会議前ではありますが、お時間をいただき、一言お祝いを申し上げます。

去る6月3日に開催されました福島県町村議会議長会におきまして、小野町議会の今日までの議会活動などが認められ、優良町村議会表彰を受賞されましたこと、誠におめでとうございます。

これまで同様に、町政発展に寄与していただきますようお願いを申し上げます。

それでは、次に移らせていただきます。

令和6年小野町議会定例会6月会議が開催されるに当たり、議員の皆様には、時節柄何かとご多用の中、ご参集をいただき、ご審議賜りますことに厚く御礼を申し上げます。

今定例会にご提案申し上げます案件は、条例改正案件2件、補正予算案件2件、人事案件1件並びに報告案件2件を合わせて、7件となっております。

以下、その概要につきましてご説明を申し上げますが、それに先立ちまして、町政執行に係る所信の一端を申し述べさせていただきます。

はじめに、公共施設整備の進捗状況についてであります。〔仮称〕小野町児童館につきましては、整備事業に係る第1回会議を先月14日に行い、工事概要や安全対策、全体工程等について確認を行ったところであります。

更に、運営面の検討やネットワーク環境整備、児童館設置へ向けた県との調整及び町条例等の整備、児童館の愛称募集等も併せて取り組んでまいります。

次に、役場新庁舎につきましては、4月下旬に関係地権者を対象とした全体説明会を開催したところであります。

現在は、不動産鑑定評価業務や立竹木に係る物件補償調査業務等の成果を踏まえた用地交渉を進めているところであります。

今後、用地交渉の進捗状況に合わせ、新庁舎建設に係る建築基本・実施設計業務や計画敷地内の道路設計業務等を発注する予定であります。

次に、まちづくり推進に向けた取組についてであります。先月、役場内にまちづくり推進庁内会議を設置

し、小野町総合計画に掲げる主要事業の円滑な実施を行うため、推進体制の整備等の協議・調整を行うなど、着実な実施に向け、鋭意取り組んでいるところであります。

次に、行政改革推進事業についてであります。複雑化、多様化する課題に迅速に対応できる行政組織機構の見直しについて検討するため、行政組織機構改革検討委員会を庁内に設置したところであります。

次に、移住・定住の推進についてであります。移住・定住の推進を図るため、「つどっておのまち」を拠点に様々な情報の発信や、移住・定住を考えている方々への相談業務を展開するほか、本年度も首都圏を中心に出張移住相談会に当町も参加し、移住・定住の推進を図ってまいります。

次に、災害対策事業についてであります。地区別防災計画につきましては、今年度、当町が福島県のモデル地区となっており、県の市町村支援プログラムを活用して取り組んでいるところであります。

策定する計画の内容は、実際にその地域に住み、地域の特性をよく把握している住民の皆様が、地域の不安や課題に応じて自由に作成することができるようになっております。

地区別防災計画は、ただ計画を作成するだけでなく、日頃から計画に基づく防災活動を実践することや、定期的な見直しを行いながら、防災活動を継続していくことが大変重要だと思っております。

最終的には、地域の実情を踏まえながら、行政区の枠を越えた単位で計画が策定できればと考えているところであります。

次に、し尿及び浄化槽汚泥収集運搬業務についてであります。し尿及び浄化槽汚泥収集運搬・浄化槽清掃業務につきましては、業務の体制が変更になってから1年が経過したところであります。

町民の皆様につきましては、事前にくみ取りの申込みをしていただくことも定着しつつあり、大きな混乱もなく順調に推移しているところであります。

今後も引き続き、事故防止対策に万全を期して、効率的で安定した業務遂行に努めてまいり所存であります。

次に、廃棄物処理施設整備に関する田村市との共同事業の進捗状況についてであります。田村市と共同で運営しております廃棄物処理施設の「たむらクリーンセンター」については、新たな資源ごみ処理施設として田村市内に整備された「たむらリサイクルプラザ」とも連携し、順調に推移しているところであります。

今後とも、田村市と連携を図りながら、廃棄物処理施設の整備・運営を進めてまいり所存であります。

次に、小野ウェストパーク一般廃棄物最終処分場の搬入状況についてであります。一般廃棄物の搬入状況につきましては、日曜日と祝日を除く毎日、約20台前後の車両で廃棄物が搬入されているところであります。

町では、福島県、いわき市、事業者との4者で締結した協定に基づき、職員を処分場に常駐させ、搬入廃棄物の種類や重さを車両1台ごとに確認し、搬入物の監視を行っているところであります。

なお、搬出自治体数、搬入量など搬入の概要につきましては、今定例会終了後に開催されます月例全員協議会でご報告する予定であります。

次に、かわうちの湯利用料金助成事業についてであります。今事業は、4月13日の県道吉間田滝根線の開通を記念して行っている事業であり、現在の申請状況につきましては、先着2,000名に対し、6月7日現在、947名の方から申込みをいただいているところであります。

この事業を一つの契機として、小野町、川内村のさらなる連携交流が図られるよう、本事業を利用された皆さんの感想なども伺いながら、今後の事業展開に役立ててまいりたいと考えております。

次に、健康づくり事業についてであります。ウォーキングを習慣化することで、生活習慣病の予防や肥満の解消、さらには心のリフレッシュなどの効果が期待されていることから、多くの町民の方に楽しみながら継続してウォーキングしていただくために、インセンティブを付与する事業としたところであります。

具体的には、町が設定した目標歩数を達成された方に、健康食品セットや健康グッズを配付するもので、利用された方々にアンケートを実施しながら、町民の健康保持・増進に資する取組を行ってまいりたいと考えております。

次に、小野町こども家庭センターについてであります。令和6年4月1日から、子育て支援課内に小野町こども家庭センターを開設したものであります。

母子保健機能を有する子育て世代包括支援センターと児童福祉機能を有する子ども家庭総合支援拠点が一体となり、妊娠・出産・子育てに関することや子供の発達面、子供や家庭の問題に関する相談など、関係機関との連携を強化して対応してまいります。

このほかにも、親子ふれあい教室や幼児のわくわくタイムなどの各種教室や一時預かり事業等を実施していく予定であります。

次に、農業関係でございますが、水稲につきましては、天候にも恵まれ、無事に田植えが行われ、安堵しているところであります。

引き続き、水稲病害虫防除への助成などを行いながら、秋の収穫まで各種支援を進めてまいります。

次に、農業の6次産業化・発酵のまちづくりについてであります。令和4年度から販売を開始したオリジナル日本酒「東堂山勝馬」の令和6年新酒の試飲会を4月13日に開催したところであり、同日より町内で販売が開始され、昨年引き続き好評をいただいているところであります。

新たに先月より、福島さくら農業協同組合の直売所「あぐりあ」と「ふあせるたむら」、福島県大阪事務所での販売も開始したところであり、今後は東京にあります日本橋ふくしま館でも販売を予定しているところであります。

それから、春競馬でありましたけれども、期間中、競馬場でも販売をいたしました。

さらに、当町において、発酵食品ソムリエの養成講座「発酵の学校」をサテライト会場として開講する予定であり、東京の本会場以外に本年度は岐阜県恵那市、秋田県横手市、そして当町の3か所のサテライト会場で開講されることとなっております。

当町においては、7月13日から11月9日までの全12講座が予定されており、多くの受講者を募集し、発酵食品の啓発・推進リーダーの育成を図っていく考えであります。

味噌部会におきましては、6次産業化をさらに推進するため、本年度より原料となる大豆の栽培を開始し、小野町産大豆によるみそ造りに取り組むこととしております。

次に、耕作放棄地対策についてであります。新たな対策の一つとして、耕作放棄地解消と粟の産地化による所得向上を図るための手段の一つとして、初期の遊休農地に粟を新植するための苗木代の購入費用補助を行うこととしております。

今年度は、モデル事業として展開することとしており、先進地である茨城県笠間市から技術指導を受けるなど連携しながら事業を進めてまいり所存であります。

次に、沖縄県石垣市との交流についてであります。今月29日に小野町活性団の主催による八重山祭り i n 小野町が開催されることとなっております。

町としましては、イベントの後援を行うとともに、民間レベルでの交流が促進されるよう支援しているところであります。

なお、同日、石垣市の特産品であるパイナップルやマンゴーの販売を予定しており、イベントに向けて準備を進めているとお聞きしております。

次に、ふくしま森林再生事業についてであります。林業専用道路愛宕線沿線の8.3ヘクタールと林業専用道路上合内大平線沿線の10ヘクタールにつきましては、間伐等の森林整備と放射性物質の動態に応じた表土流出防止柵などの対策を一体的に行う予定としているところであります。

また、広葉樹林再生事業において、林業専用道早渡大平線沿線の8.5ヘクタールを更新する予定としているところであります。

次に、空き店舗対策事業についてであります。町内の空き店舗対策として、福島県活力ある商店街支援事業と連携した小野町空き店舗対策事業を、令和6年4月より開始しているところであります。

これは、町内の空き店舗を活用して店をオープンする創業者に対し、家賃補助と改装費補助を行うものであります。

現在、商工会や関係団体と連携しながら、活用可能な店舗の洗い出しなどを行っているところであります。

次に、プレミアム付商品券発行事業についてであります。地域における個人消費の喚起、消費者の生活支援と消費購買力の高揚、さらに物価高騰の影響を受けている町内事業所の売上げ向上を図るため、7月にプレミアム30%つき小桜ちゃんプレミアム付商品券の販売を予定しているところであります。

なお、より多くの購入希望者が購入できるよう、また販売日当日の混雑緩和のため、6月上旬に事前申込み通知を送付し、購入希望者数の取りまとめを行う予定としております。

申込数が販売冊数7,000冊を超えた場合は、購入希望冊数が多い申込者に対し調整を行ったうえで、全申込者に購入引換券を郵送する考えであり、販売日当日は、購入引換券を持参した方のみ販売を行うこととしております。

次に、公園・緑地管理事業についてであります。河川改修事業に関連した公共用地を利用し、令和6年下期の供用開始に向けて、荒町河川公園の整備を進めているところであります。

また、河川改修事業に関連して整備を進める予定のポケットパーク等につきましては、地域住民や町民団体と協力しながら維持管理を行っていくための手法を検討していく考えであります。

次に、教育関係でございますが、小・中学校におきましては、昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類となったことを受け、児童生徒等や教職員の新型コロナウイルスの感染が確認された場合の対応ガイドラインが改定されましたが、その後につきましても、引き続き、学校内外における各種感染症の感染対策に努めながら、以前よりも幅を広げた形で学習活動に積極的に取り組んでいるところであります。

中学校におきましては、4月に東京方面へ修学旅行を実施、小学校においても、今月13日から修学旅行を実施する予定であります。

今後も、教育委員会や学校現場と連携し、可能な限り感染症対策を行った上で学習活動を実施していく考え

であります。

次に、生涯学習についてであります。先月24日に、天栄村のブリティッシュヒルズに小学校6年生を派遣して、生の英会話や異文化を体験してもらった小学生国際交流体験事業を実施したところであります。

中学校につきましては、7月30日及び31日の1泊2日の日程で実施する予定であります。

また、4月27日には、年度末に完成した丘灯至夫先生の偉人漫画の完成を記念して、丘灯至夫記念館特別展でのテープカット並びに偉人漫画の完成披露式を開催したところであります。

なお、今年度につきましては、偉人漫画が完成したことを受け、小・中学校での活用授業、作詩コンクール等を予定しているところであります。

そのほか、ふるさと文化の館・丘灯至夫記念館の開館30周年を記念し、7月13日土曜日午後1時30分から多目的研修集会施設大ホールにおいて、陸上自衛隊第6音楽隊演奏会の開催を予定しているところであり、多くの町民の皆様は演奏会を鑑賞していただき、音楽のすばらしさを感じていただければと思っているところであります。

以上、今年度の主要な事業等の状況をご報告いたします。

今後も、小野町総合計画で掲げる将来像の実現に向けて、様々な政策を展開し、町民の皆様とともに、魅力ある持続可能なまちづくりに取り組んでまいりますので、引き続き、議員各位のご理解、ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

それでは、本定例会6月会議に提出いたしました議案の提案理由をご説明いたします。

議案第31号から議案第32号までの条例の一部改正案件2案件につきまして、ご説明いたします。

初めに、議案第31号 小野町税条例の一部を改正する条例についてであります。本案は、地方税法等の一部改正により町税に係る関係規定の整備等を行うため、所要の改正を行うものであります。

改正の内容といたしましては、1つ目に、私立学校法の改正に伴い条項を整備するものであります。

2つ目に、公益信託の見直しによる所得税法の規定の見直しに伴い、公益信託の信託財産とするために支出した寄附金について町民税控除を行うため、規定を整備するものであります。

この条例については、令和7年4月1日から施行するものであります。

ただし、第34条の7第1項の改正規定及び附則第4条の2を削る改正規定並びに次条の規定については、公益信託に関する法律の施行の日の属する年の翌年の1月1日から施行するものであります。

次に、議案第32号 小野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例についてであります。本案は、1つ目に、国民健康保険法施行令の一部を改正する政令が公布されたことに伴い、国民健康保険税の賦課限度額及び軽減基準額等の所要の改正を行うものであります。

2つ目に、令和6年度の国民健康保険税の課税基準が確定したことに伴い、国民健康保険税率の試算を行った結果、税率の引上げが必要となったことから、所要の改正を行うものであります。

以上、議案第31号から議案第32号までの条例の一部改正案件2案件につきましてご説明申し上げましたが、細部につきましては、それぞれ副町長以下、担当課長等に説明をいたさせますので、慎重ご審議の上、ご決議を賜りますようお願い申し上げます。提案の説明といたします。よろしく願いいたします。

◎議案第31号及び議案第32号の質疑

○議長（田村弘文君） 議案に対する質疑を行います。

議案第31号 小野町税条例の一部を改正する条例についてから議案第32号 小野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例についてまでの2議案について、一括して質疑を行います。

質疑ありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（田村弘文君） 質疑なしと認めます。

したがって、議案第31号から議案第32号までの2議案について質疑を終わります。

◎議案第33号及び議案第34号の上程

○議長（田村弘文君） 日程第6、議案第33号 令和6年度小野町一般会計補正予算（第1号）から日程第7、議案第34号 令和6年度小野町介護保険特別会計補正予算（第1号）までの2議案を一括して議題といたします。

事務局長に朗読させます。

事務局長。

郡司事務局長。

〔議会事務局長朗読〕

◎議案第33号及び議案第34号の説明

○議長（田村弘文君） 町長の提案理由の説明を求めます。

町長。

村上町長。

〔町長 村上昭正君登壇〕

○町長（村上昭正君） 次に、議案第33号から議案第34号までの補正予算案件2案件につきましてご説明いたします。

初めに、議案第33号 令和6年度小野町一般会計補正予算（第1号）についてであります。既定の歳入歳出予算総額に471万6,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を62億4,171万6,000円とするものであります。

補正予算の内容であります。歳入につきましては、国庫支出金において子ども・子育て支援事業費補助金を増額し、繰入金において財政調整基金繰入金により収支調整したものであります。

続きまして、歳出につきましては、民生費において児童手当制度改正に伴うシステム改修業務委託料等を、教育費において海外研修助成事業補助金を増額するものであります。

次に、議案第34号 令和6年度小野町介護保険特別会計補正予算（第1号）についてであります。既定の歳入歳出予算の総額に770万を追加し、歳入歳出予算の総額を14億2,205万4,000円とするものであります。

補正予算の内容であります。歳入につきましては、国庫支出金において地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金を770万円計上し、歳出につきましては、総務費において歳入と同額を施設整備補助金として計上したものであります。

議案第33号から議案第34号までの補正予算案件2件につきましてご説明申し上げましたが、いずれも真に必要な補正予算であります。

細部につきましては、副町長以下、担当課長等に説明いたさせますので、慎重ご審議の上、ご議決を賜りますようお願い申し上げます。提案の説明といたします。よろしく願いいたします。

◎議案第33号及び議案第34号の質疑

○議長（田村弘文君） 議案に対する質疑を行います。

議案第33号 令和6年度小野町一般会計補正予算（第1号）から議案第34号 令和6年度小野町介護保険特別会計補正予算（第1号）までの2議案について、一括して質疑を行います。

質疑ありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（田村弘文君） 質疑なしと認めます。

したがって、議案第33号から議案第34号までの2議案について質疑を終わります。

◎議案第35号の上程

○議長（田村弘文君） 日程第8、議案第35号 小野町教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについてを議題といたします。

なお、一身上の事件につき、有賀仁一教育長の退席を求めます。

〔教育長 有賀仁一君退席〕

○議長（田村弘文君） 事務局長に朗読させます。

事務局長。

郡司事務局長。

〔議会議務局長朗読〕

◎議案第35号の説明

○議長（田村弘文君） 町長の提案理由の説明を求めます。

町長。

村上町長。

〔町長 村上昭正君登壇〕

○町長（村上昭正君） 次に、人事案件1件についてご説明申し上げます。

議案第35号 小野町教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについてであります。本案は、本年7月31日で任期満了となります現教育長であります田村市大越町栗出字東畑156番地2、有賀仁一氏を再任いたしたく、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定により議会の同意を求めるものであります。

なお、新たな任期につきましては、令和6年8月1日から3年の任期となるものであります。

以上、議案第35号の人事案件1件につきましてご説明申し上げましたが、慎重ご審議の上、ご議決を賜りますようお願い申し上げます。提案の説明といたします。よろしくお願ひいたします。

◎議案第35号の質疑

○議長（田村弘文君） 議案に対する質疑を行います。

議案第35号 小野町教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて質疑を行います。

質疑ありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（田村弘文君） 質疑なしと認めます。

したがって、議案第35号について質疑を終わります。

◎議案第35号の採決

○議長（田村弘文君） 次に、討論を省略し、議案の採決をしたいと思ひます。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（田村弘文君） ご異議なしと認めます。

議案の採決を行います。

議案第35号 小野町教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて、原案のとおり同意することに賛成する議員の起立を求めます。

〔起立全員〕

○議長（田村弘文君） 起立全員であります。

したがって、議案第35号 小野町教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについては、原案のとおり同意することに決定いたしました。

有賀仁一教育長の入場を求めます。

〔教育長 有賀仁一君入場〕

○議長（田村弘文君） ただいまの人事案件の結果について申し上げます。

原案のとおり全員賛成により同意されたことを報告いたします。

◎議案の委員会付託

○議長（田村弘文君） 日程第9、議案の委員会付託を行います。

お手元に配付の付託事件表をご覧ください。

本案のとおり常任委員会に付託したいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（田村弘文君） ご異議ありませんので、付託事件表のとおり、常任委員会に付託することに決定いたしました。

◎請願・陳情の委員会付託

○議長（田村弘文君） 日程第10、請願・陳情の委員会付託を行います。

陳情第2号から陳情第6号までの5件の陳情につきましては、お手元に配付の請願・陳情文書表のとおり付託いたします。

なお、陳情書の写しは、お手元に配付のとおりであります。

◎報告第2号及び報告第3号の報告

○議長（田村弘文君） 日程第11、報告第2号 令和5年度小野町一般会計予算繰越明許費繰越の報告についてから日程第12、報告第3号 令和5年度小野町水道事業会計予算繰越の報告についてまでは、朗読を省略し、町長の報告を求めます。

町長。

村上町長。

[町長 村上昭正君登壇]

○町長（村上昭正君） 次に、報告第2号 令和5年度小野町一般会計予算繰越明許費繰越の報告についてですが、本報告案件は、地方自治法施行令第146条第2項の規定により、令和5年度小野町一般会計において、翌年度に繰越して使用できるとした繰越明許費繰越計算書を調製したことから、報告するものであります。

繰越した事業は、公共施設等整備検討事業など5事業であり、事業費総額は4億3,548万5,000円で、うち令和6年度に繰越した総額は、2億3,911万5,000円であります。

繰越額の財源内訳につきましては、未収入分の国庫支出金が3,757万8,000円、県支出金が3,749万9,000円、一般財源が1億3,949万6,844円であります。

次に、報告第3号 令和5年度小野町水道事業会計予算繰越の報告についてですが、本報告案件は、地方公営企業法第26条第3項の規定により、令和5年度小野町水道事業会計において、同法第26条第1項の規定に基づき建設改良費を翌年度に繰越した額について報告するものであります。

繰越した事業は施設改修事業で、予算計上額は1,354万2,000円であり、支払義務発生額は589万2,000円であったことから、令和6年度に繰越した額は765万円となったものであります。

繰越額の財源内訳につきましては、全額、損益勘定留保資金等であります。

以上、報告を終わらせていただきます。

◎散会の宣告

○議長（田村弘文君） 以上をもって、本日の会議日程は全て終了いたしました。

本日の会議はこれをもって散会といたします。

散会 午前10時45分